

令和2年度紀の川市水道事業決算 の概要について

令和3年11月
紀の川市上下水道部

◆経営成績（収益的収支）・・・P4

◎収益的収支グラフ・・・P5

◎口径別使用水量・・・P6

◎補助金、出資金について・・・P7

◎加入分担金地区別件数集計表・・・P8

◎減価償却費と長期前受金戻入について・・・P9

◆投資状況（資本的収支）・・・P10

◎資本的収支グラフ・・・P11

◆財政状態・・・P12

公営企業会計の予算、決算

- A「収益的収支」：経常的な事業活動に伴って発生する収益と費用の収支状況

- B「資本的収支」：施設の整備を進めるための投資額とその財源の収支状況

◆ 経営成績

収益的収支（令和2年度損益計算書より抜粋）

（単位：千円）

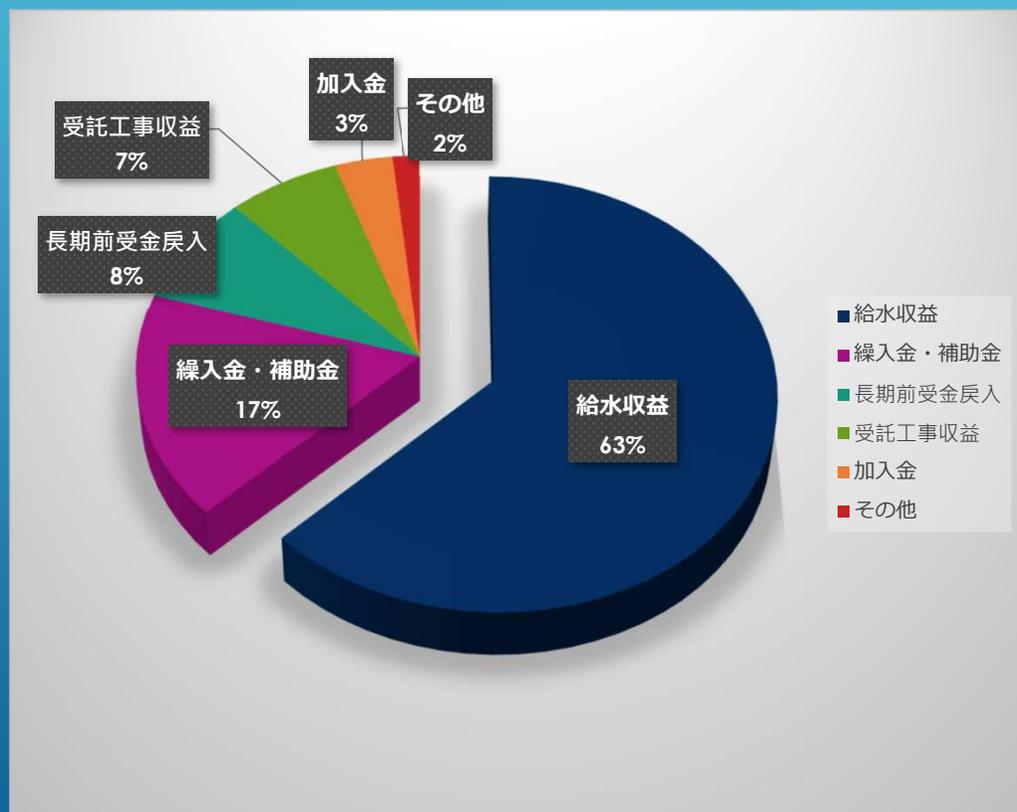
科 目	令和2年度決算	令和元年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較		
収入	1,593,840	1,285,592	308,248	1,450,122	143,718	給水収益	料金収入
給水収益 （基本料免除なし）	1,001,039 (1,170,696)	1,024,572	-23,533 (146,124)	1,199,320	-198,281 (-28,624)	繰入金・補助金	一般会計が負担すべき費用について繰入を行うもの、消火栓維持管理負担金や高料金対策補助金、新型コロナウイルス感染症対策補助金等。
繰入金・補助金 （基本料免除なし）	269,467 (82,668)	19,715	249,752 (62,953)	12,780	256,687 (69,888)	受託工事収益	道路改良等、水道事業以外の原因によって行う工事に対して繰り入れられる収益。
受託工事収益	108,705	57,220	51,485	61,000	47,705	加入金	加入分担金、新たに水道を引いたり、より口径の大きいメーターに変更する場合、メーターの口径に応じて支払われるもの。
加入金	55,873	36,742	19,131	38,816	17,057	長期前受金戻入	資産の取得費を耐用年数分、毎年費用化しているのが減価償却費で、これに含まれる補助金相当額を収益化するもの。
長期前受金戻入	132,549	125,617	6,932	122,231	10,318		
その他	26,207	21,726	4,481	15,975	10,232		
支出	1,305,871	1,239,527	66,344	1,309,942	-4,071	施設維持管理経費	原水及び浄水費、配水及び給水費、総係費の内、施設維持管理に関する経費。
施設維持管理経費	415,357	413,932	1,425	445,554	-30,197	人件費	給与、手当、賞与、法定福利費等。
人件費	159,823	166,372	-6,549	165,764	-5,941	受託工事費	道路改良等、水道事業以外の原因によって行う工事費。
受託工事費	104,544	55,918	48,626	61,000	43,544	減価償却費	資産の取得費を耐用年数分、毎年費用化するもの。
減価償却費	496,118	493,676	2,442	528,512	-32,394	支払利息	企業債の利息。
支払利息	90,787	99,277	-8,490	105,282	-14,495		
その他経費	39,242	10,352	28,890	3,830	35,412		
当年度損益	287,969	46,065	241,904	140,181	147,788		

□ 経営成績の評価

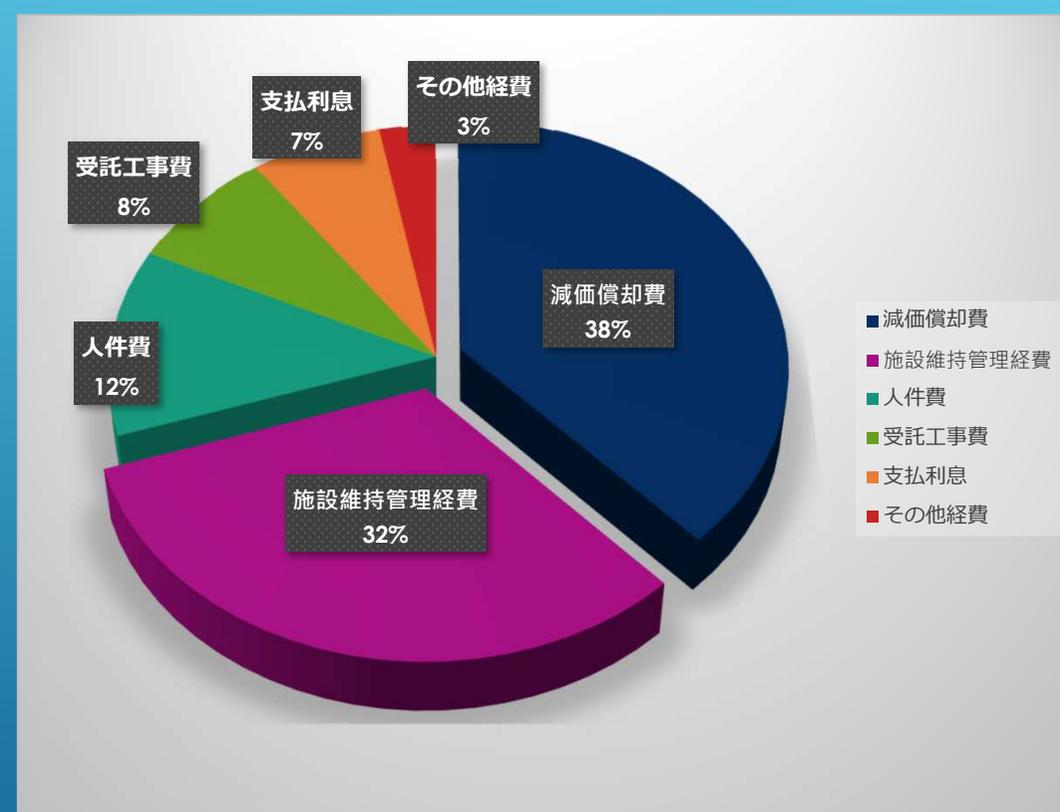
評価	評価コメント	改善すべき点
○	料金改定により収入が増加し、支出が抑制されたことにより、黒字を確保することができました。	効率的な経営を行い、計画値に沿って可能な限り黒字を確保し、健全経営に努める。

◎収益的収支グラフ

収入



支出



◎口径別使用水量

(単位 : m³)

口径	令和2年度	令和元年度	前年度比	
13mm	4,921,416	4,795,442	125,974	2.6%
20mm	598,857	598,855	2	0.0%
25mm	266,074	284,436	-18,362	-6.5%
30mm	81,874	86,631	-4,757	-5.5%
40mm	242,254	256,922	-14,668	-5.7%
50mm	179,239	207,556	-28,317	-13.6%
75mm	75,891	87,844	-11,953	-13.6%
合計	6,365,605	6,317,686	47,919	0.8%

◎補助金、出資金について

(単位：円)

科 目	内 容	令和2年度	令和元年度	比較
一般会計補助金		266,251,669	14,919,641	251,332,028
公営企業会計適用債元利償還補助金	平成30年度の旧簡易水道事業の会計統合の際、統合事業債として、公営企業債を借入したが、その元利償還金に対し繰入基準に基づき繰り入れたもの。	499,287	501,173	-1,886
児童手当補助金	職員に対する児童手当の給付に要する経費の一部に対し繰り入れたもの。	1,200,000	1,160,000	40,000
高料金対策補助金	自然状況等により、資本費（企業債の元金・利子等）が増加し高水準の料金設定をせざるを得ない事業に対し、基準を満たした事業者に財政措置されたもの。	64,768,642	0	皆増
防災力向上事業補助金	水道事業における防災対策に要する経費の一部に対して繰り入れたもの。	226,050	0	皆増
旧簡易水道建設改良事業債利子償還補助金	統合水道の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、統合前の簡易水道事業に係る建設改良のために発行された企業債の利子償還の一部について繰り入れたもの。	12,759,090	13,258,468	-499,378
新型コロナウイルス感染症対策補助金	新型コロナウイルス感染症対策の一環として7月請求分から12月請求分までの半年間にわたり基本料を免除したものを全額繰り入れたもの。	186,798,600	0	皆増
一般会計負担金		3,215,196	4,795,042	-1,579,846
消火栓維持管理負担金	前々年度の実績で消火栓設置にかかる費用と、防火水槽給水費、火災時における水道使用分を繰り入れたもの。	3,215,196	4,795,042	-1,579,846
一般会計補助金（附帯事業収益）		7,604,867	3,410,066	4,194,801
一般会計補助金	附帯事業である小規模飲料水供給施設の不採算部分を補填として繰り入れたもの。	7,417,367	3,410,066	4,007,301
新型コロナウイルス感染症対策補助金	新型コロナウイルス感染症対策の一環として7月請求分から12月請求分までの半年間にわたり附帯事業の基本料を免除したものを全額繰り入れたもの。	187,500	0	皆増
出資金（水道事業会計）		267,207,941		267,207,941
旧簡易水道建設改良事業出資金	統合水道の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、統合前の簡易水道事業に係る建設改良のために発行された企業債の元金償還の一部について繰り入れたもの。	119,110,741	107,484,155	11,626,586
水道施設耐震化事業等出資金	水道施設耐震化事業（国道24号）等の基幹水道構造物の耐震化事業を対象として繰り入れたもの。	20,095,800	0	皆増
水道施設移設出資金	桃山就業改善センター取り壊しに伴う水道施設移転補償として繰り入れたもの。	126,829,900	0	皆増
防災力の向上事業出資金	防災対策に要する経費の一部に対して繰り入れたもの。	1,171,500	2,684,825	-1,513,325

◎加入分担金地区別件数集計表

(単位：件)

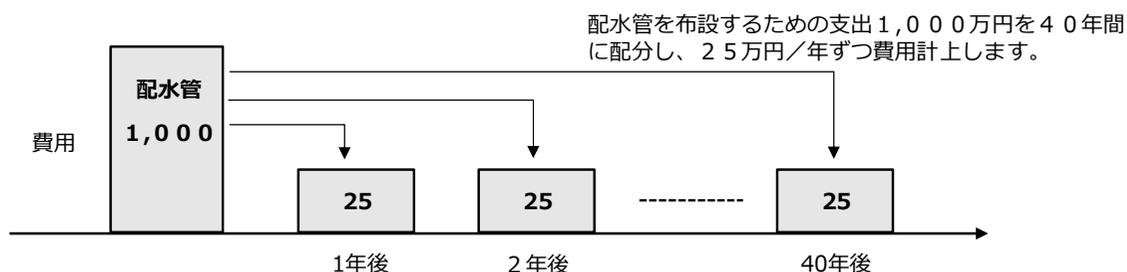
メータ口径	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	計
φ 13	85	21	8	22	61	197
φ 20	3	1			2	6
φ 25	2	1	1		1	5
臨時用 φ 13	1					1
φ 13→φ 20		1	1	1		3
φ 13*2→φ 20	1					1
計	92	24	10	23	64	213

◎減価償却費と長期前受金戻入について

減価償却費

公営企業会計では、経営状況を正しく把握できるよう、費用のうちその支出の効果が翌年度以降に持続するものは繰り延べられ、翌年度以降の費用（減価償却費）として計上します。

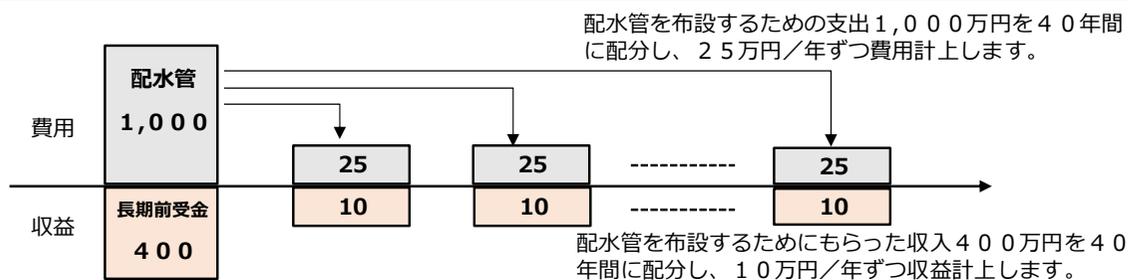
例えば配水管を布設するために1,000万円を支払った場合、配水管の耐用年数40年間に配分し、1年ごとに25万円の費用（減価償却費）として計上します。この25万円（減価償却費）は、費用として40年間計上されますが、現金支出を伴わない会計上の支出であり、非現金支出と呼ばれます。



長期前受金戻入

配水管等、水道施設を布設する際に、財源として交付された国や県からの補助金を長期前受金と呼びます。長期前受金は、減価償却費と同じように配水管の耐用年数にわたって分割して計上します。この分割された収入を長期前受金戻入といいます。

例えば1,000万円の配水管を布設するために補助金を400万円もらった場合1年ごとに10万円の収益（長期前受金戻入）は、収益として40年間計上されますが、現金収入を伴わない会計上の収入であり、非現金収入と呼ばれます。



◆投資状況

資本的収支

(単位：千円)

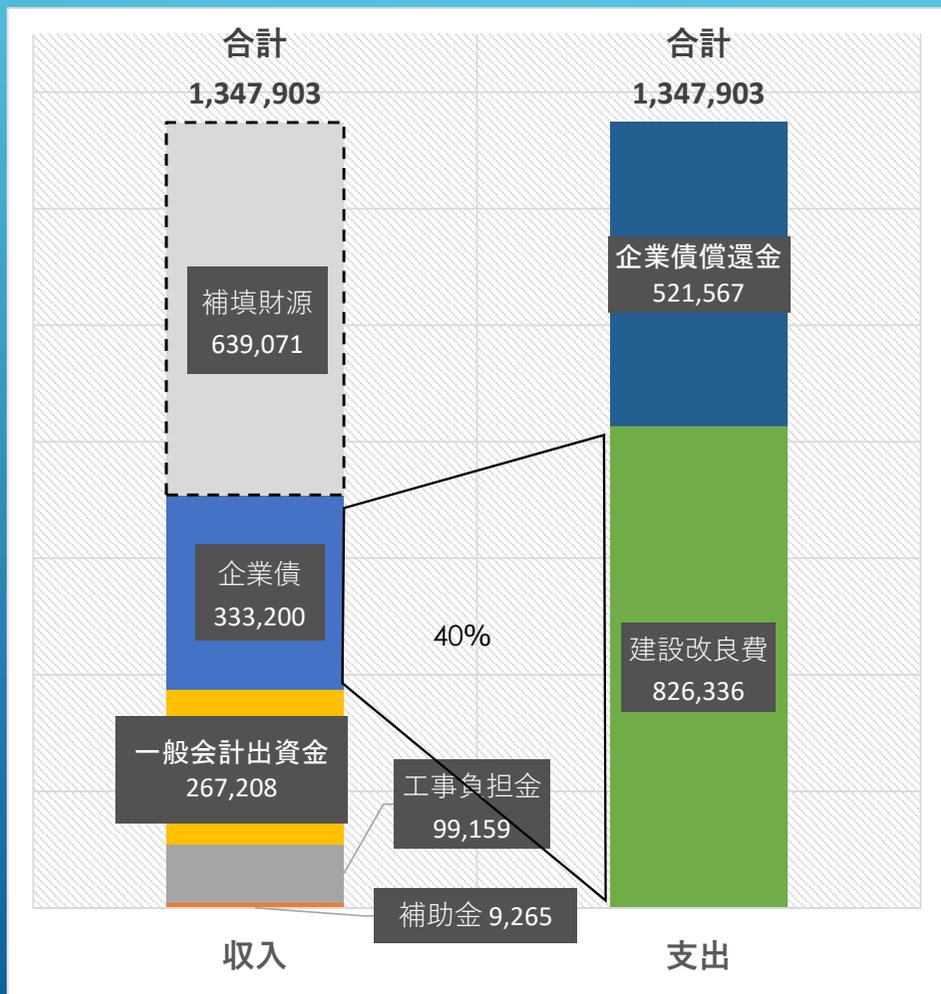
科 目	令和2年度	令和元年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較
収入	708,832	407,113	301,719	706,290	2,542
企業債	333,200	238,000	95,200	530,700	-197,500
補助金	9,265	0	9,265	36,000	-26,735
工事負担金	99,159	58,944	40,215	20,000	79,159
一般会計出資金	267,208	110,169	157,039	119,590	147,618
支出	1,347,903	1,030,497	317,406	1,440,862	-92,959
建設改良費	826,336	539,567	286,769	884,520	-58,184
企業債償還金	521,567	490,214	31,353	516,342	5,225
その他資本的支出	0	716	-716	40,000	-40,000
資本的収支	-639,071	-623,384	-15,687	-734,572	95,501

企業債	長期借入金
補助金	国・県補助金
工事負担金	道路改良等、水道事業以外の原因によって行う工事に対して繰り入れられる収益のうち減耗がかかるもの。
一般会計出資金	一般会計が負担すべき費用について繰入を行うもの。

建設改良費	新規配管布設・老朽管布設替工事等の工事請負費、メーター費、固定資産購入費等。
企業債償還金	企業債の元金償還金。

◎資本的収支グラフ

(単位：円)



□投資状況の評価

評価	評価コメント
○	投資計画を達成し、更に企業債借入が予定額を下回ることができました。

◆財政状態（令和2年度貸借対照表より抜粋）

（単位：円）

科 目		金 額	科 目		金 額
固定資産		14,686,430,201	固定負債		6,079,817,541
有形固定資産		14,385,571,961	企業債①		6,079,817,541
土地		972,908,435	流動負債		867,808,934
建物		549,143,113	企業債②		560,416,512
構築物		10,158,004,000	未払金		293,746,782
機械及び装置		2,495,001,153	引当金		13,637,000
車両運搬具		537,057	その他流動負債		8,640
工具器具・備品		14,290,493	繰延収益		2,783,124,771
建設仮勘定		195,687,710	長期前受金		2,783,124,771
無形固定資産		858,240	負債合計		9,730,751,246
施設利用権・電話加入権		858,240	資本金		6,415,245,623
投資その他の資産		300,000,000	自己資本金		6,415,245,623
流動資産		2,136,221,634	剰余金		676,654,966
現金預金		1,978,417,782	資本剰余金		46,062,371
未収金		178,933,798	利益剰余金		630,592,595
貸倒引当金		△ 21,712,956	減債積立金		0
貯蔵品		583,010	建設改良積立金		146,000,000
前払金		0	当年度未処分利益剰余金		484,592,595
その他流動資産		0	資本合計		7,091,900,589
資 産 合 計		16,822,651,835	負債・資本合計		16,822,651,835

□財政状態の評価

（単位：円）

	令和2年度決算	令和元年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較
現金預金	1,978,417,782円	1,958,256,943円	20,160,839円	1,712,047,000円	266,370,782円
企業債①②	6,640,234,053円	6,828,600,709円	-188,366,656円	6,910,688,000円	-270,453,947円
企業債残高対給水収益比率	663%	666%	-3%	576%	87%
基本料金免除なし	567%		-99%		-9%

	評価	評価コメント
現金預金	○	計画値よりも資金を確保できている。
企業債①②	○	企業債借入額の抑制により企業債残高が減少した。
企業債残高対給水収益比率	○	企業債残高の減少により計画値より減少した。

資産の部

負債の部

資本の部

令和2年度決算概要の説明は以上となります。